指定管理者評価シート

ー 管理運営の状況

1	施設名	仙台銀行ホール イズミティ21(仙台市泉文化創造センター)
2	指定管理者	仙台市市民文化事業団・東北共立・石井ビル管理グループ
3	指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 207,099人(前年度比 -%) ※大規模改修工事のため令和4年4月1日から令和6年3月31日まで休館 令和5年度 0人 令和4年度 0人
		《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施
5	収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額
		・ 指定管理者に支払った費用 246,112千円(186,067千円)
		その他市が負担した費用 668千円(4,592,221千円)
		《収入》
		・ 使用料収入 73,692千円(10,124千円)
		・ その他収入 11,960千円 (4,671千円)
6	利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施(令和6年12月1日~令和6年12月28日)

二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

		5評価 (モニタリングシートの結果によって評価)	
	評価分野	所見	評価
I	総則	地元演奏家のコーディネートによるクラシックのコンサートシリーズ(イズミノオト)や、大ホールのホワイエを利用して、地元アーティストによる無料の公演(ロビーコンサート)を開催し、気軽に市民が芸術文化に触れる機会を提供した。	24/21
п	施設の運営管理 体制	大規模災害時の帰宅困難者受入れ及びボランティアセンター設置に関する覚書を交わし、物資の備蓄等の用意を進めている。 また、防災訓練として実際に一般の観客を入れて仙台市消防音楽隊が出演する避難訓練コン サートを実施するなど、地域や関連機関との連携を図っている。	32/31
Ш	施設・設備の維 持管理	建物・設備が適切に管理され、利用者が快適に利用できるような状態が保持されている。環境への配慮や備品の管理などが適切に行われている。	24/24
IV	サービスの質の 向上	改修工事後の再開館に向けて施設のパンフレットを作成した他、エントランスに案内用のデジタルサイネージを導入し、利用情報をわかりやすく提供している。	28/28
V	施設固有の基準	利用者からの要望を取り入れ、各室のLAN回線、Wi-Fi設備の導入によるインターネット環境の整備を行った。	8/8

三 評価総括

《指定管理者(仙台市市民文化事業団・東北共立・石井ビル管理グループ)による自己評価》

・施設の設置目的、指定管理業務協定書、仕様書に定める業務を誠実かつ適切に実施することで施設を安全に保ち、市民に安心して利用していただいた。さらに、これまでの指定管理の取り組みの中で蓄積したノウハウと、それぞれに専門領域を持つ3団体で構成される指定管理者グループによる管理運営という特性を活かし、適宜主管課への報告を行いながら安定的な施設運営を実施し、利用者には満足感を持って利用いただいている。

・施設の管理運営体制については、7:15~23:00(開館時間は9:00~22:00)、年間休館日21日(年末年始6日を含む)という長時間の運営をシフト体制で行うなか、受付、舞台、警備、設備、清掃の各部門の全職員が高い意識を持ち相互に情報を共有しながら、スムーズな施設運営を行った。

・サービスの質の向上については、利用者の意見・要望を吸い上げ、すべての業務部門でそれらを共有することで不具合を解決する他、サービスのより一層の向上に努めた。窓口での丁寧な説明に加えて、施設公式サイトで利用案内やイベント情報等、施設利用にあたって必要な情報をわかりやすく提供した。

《事業》

●施設のブランドカアップ

令和6年度もクラシックの作曲家に焦点をあてたコンサートシリーズ「イズミノオト」を3回にわたり開催した。多くの市民が来場し評価も高く、施設のブランドカアップと定着を図ることができた。

●市民協働、施設の有効活用

ホールの保守点検日に大ホールホワイエを有効活用し、幅広い層の市民が足を運ぶことを目的にロビーコンサートを2回にわたり開催した。地元の演奏家が出演し、質の高い演奏で多くの来場者に楽しんでいただいた。また、休館日に小ホールで、実際に観客を入れた形でコンサートと避難訓練を併せて行う、避難訓練コンサートを開催した。

四 その他特記事項(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項	

◎ 評価担当課(施設所管課):泉区まちづくり推進部まちづくり推進課